

平成28年度

日本大学 文理学部 資料館
デジタルミュージアムの環境移行

日本大学文理学部情報科学科 谷聖一研究室

ハク イクピン

関口 彩夏

山村 真央

目次

1.はじめに

1.1- 人文科学とは

1.2- デジタルアーカイブの意義

1.3- これまでの谷研究室の取り組み

2.喜多村緑郎日記&Maps

2.1- これまでの取り組み

2.2- 開発環境

2.3- まとめ

3.デジタルミュージアム

3.1- 概要

3.2- 開発環境

3.3- 本演習の詳細

4.セキュリティ対策

5.ドキュメントの整備

6.最後に

6.1- デモ

6.2- まとめ

6.3- 今後の課題

(参照ページ)

目次

1.はじめに

1.1- 人文科学とは

1.2- デジタルアーカイブの意義

1.3- これまでの谷研究室の取り組み

2.喜多村緑郎日記&Maps

2.1- これまでの取り組み

2.2- 開発環境

2.3- まとめ

3.デジタルミュージアム

3.1- 概要

3.2- 開発環境

3.3- 本演習の詳細

4.セキュリティ対策

5.ドキュメントの整備

6.最後に

6.1- デモ

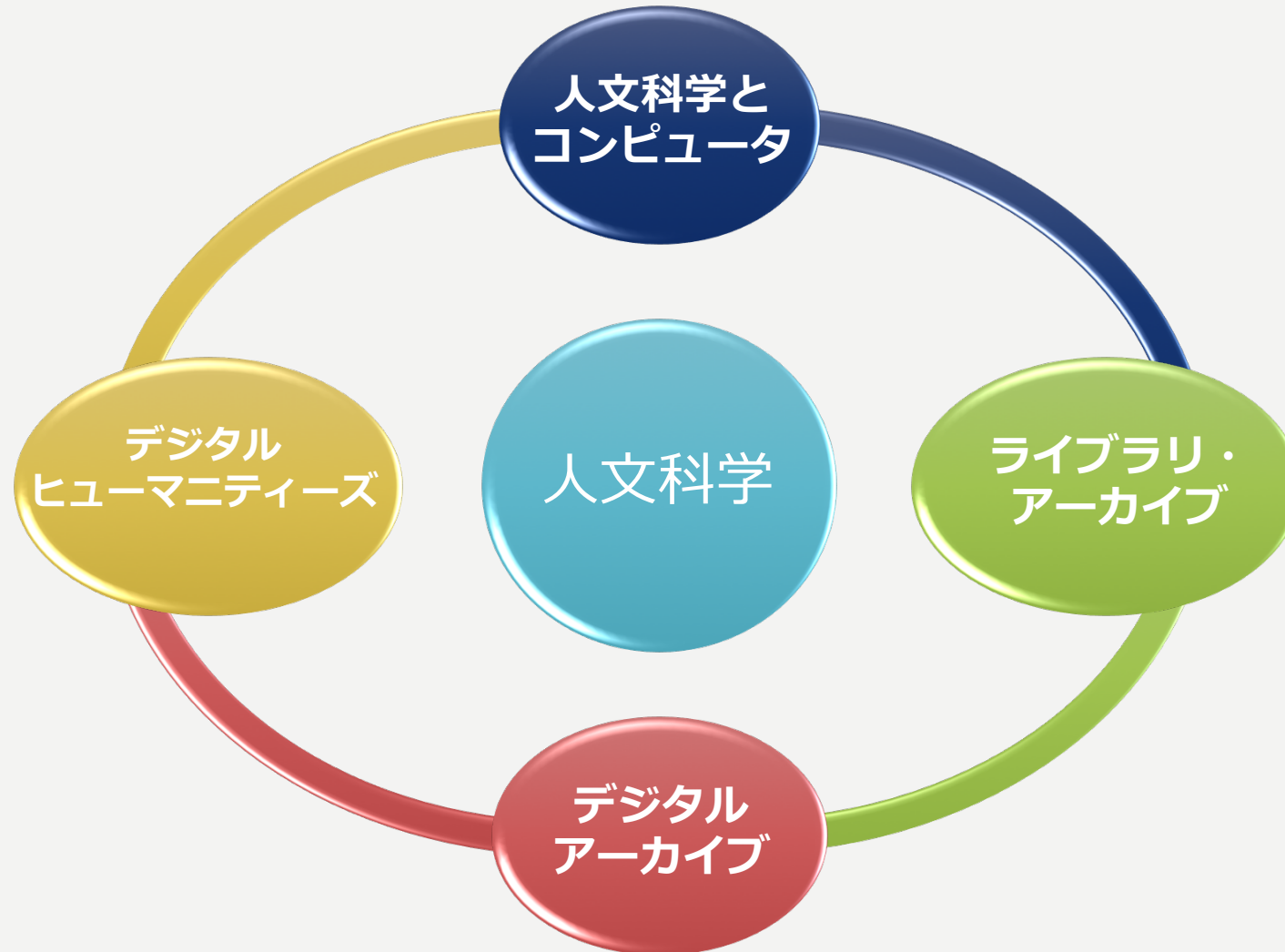
6.2- まとめ

6.3- 今後の課題

(参照ページ)

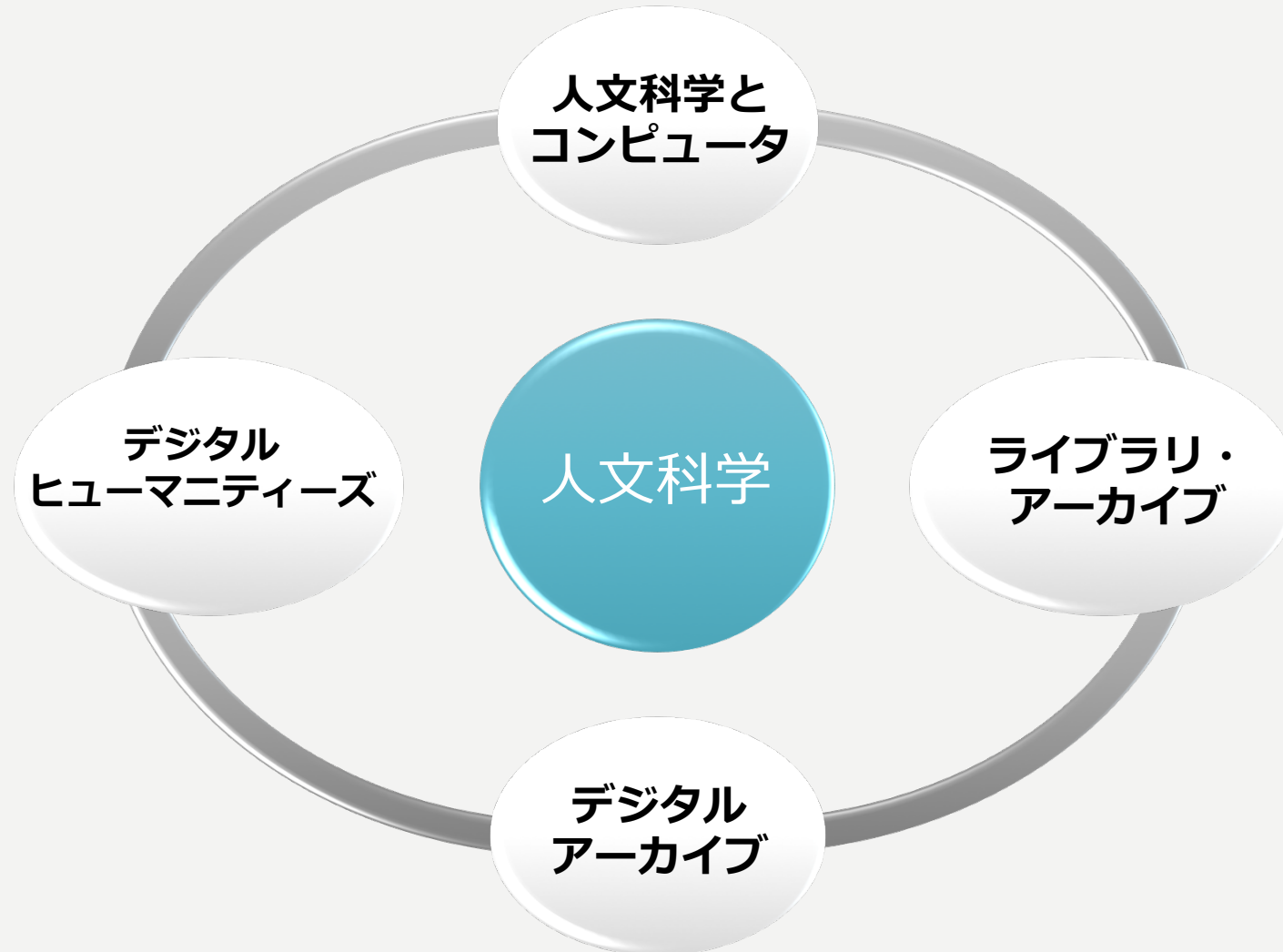
1.はじめに

1.1-人文科学とは



1.はじめに

1.1-人文科学とは



1.はじめに

1.1-人文科学

人文科学

- 人間・人為の所産 (arts) を研究の対象とする学問であり、またそれを可能にする人間本性 (human nature) を研究する学問である.

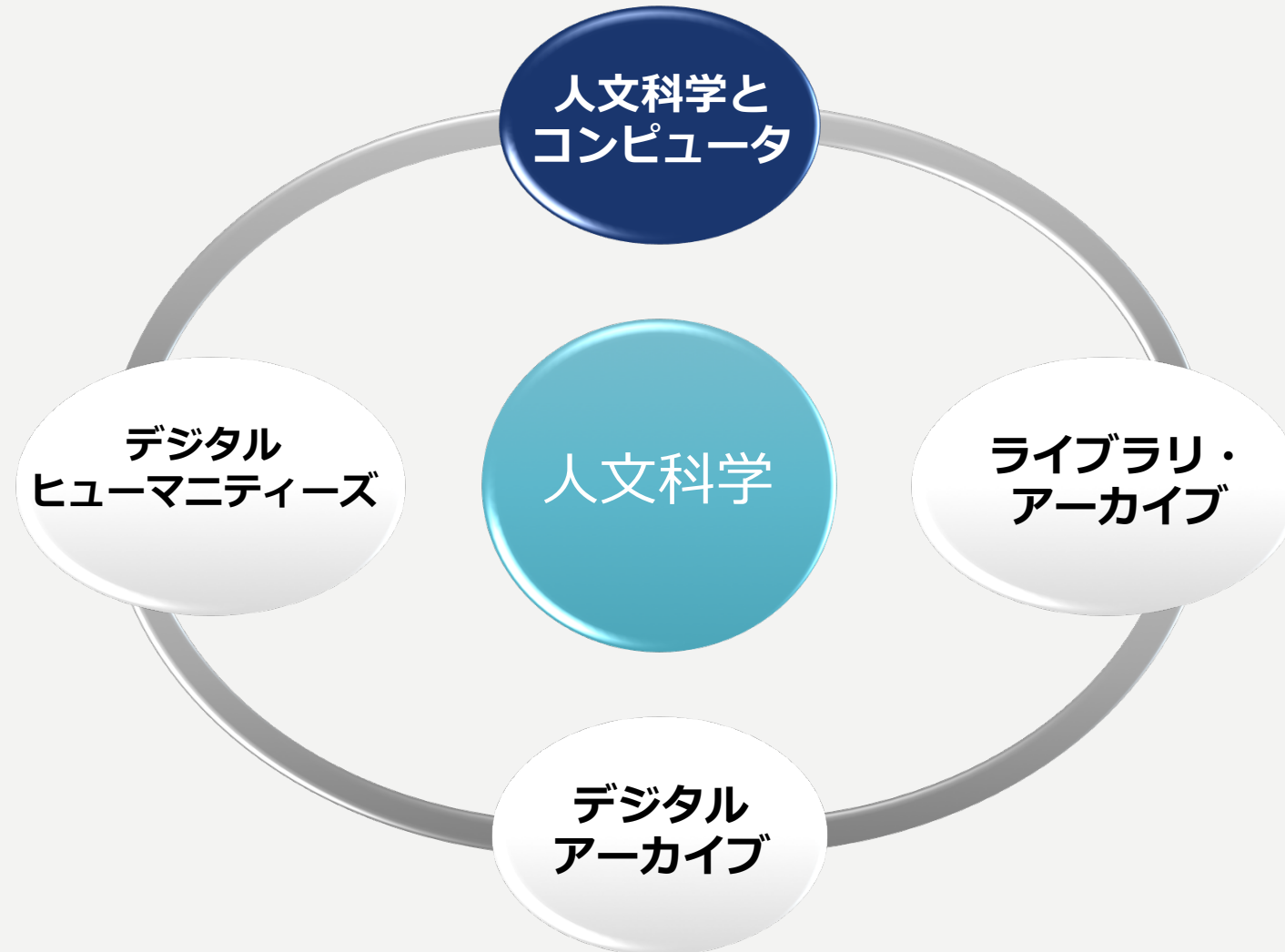
humanities

(“ wikipedia,人文科学,

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BA%BA%E6%96%87%E7%A7%91%E5%AD%A6> ”より)

1.はじめに

1.1-人文科学とコンピュータ



1.はじめに

1.1-人文科学とコンピュータ

情報技術を活用した人文科学分野の研究

---人文科学分野の課題に対して情報資源や情報技術を活用することにより、新たな知見を見出し、
情報技術分野にも新たな展開を促す研究が進められている。

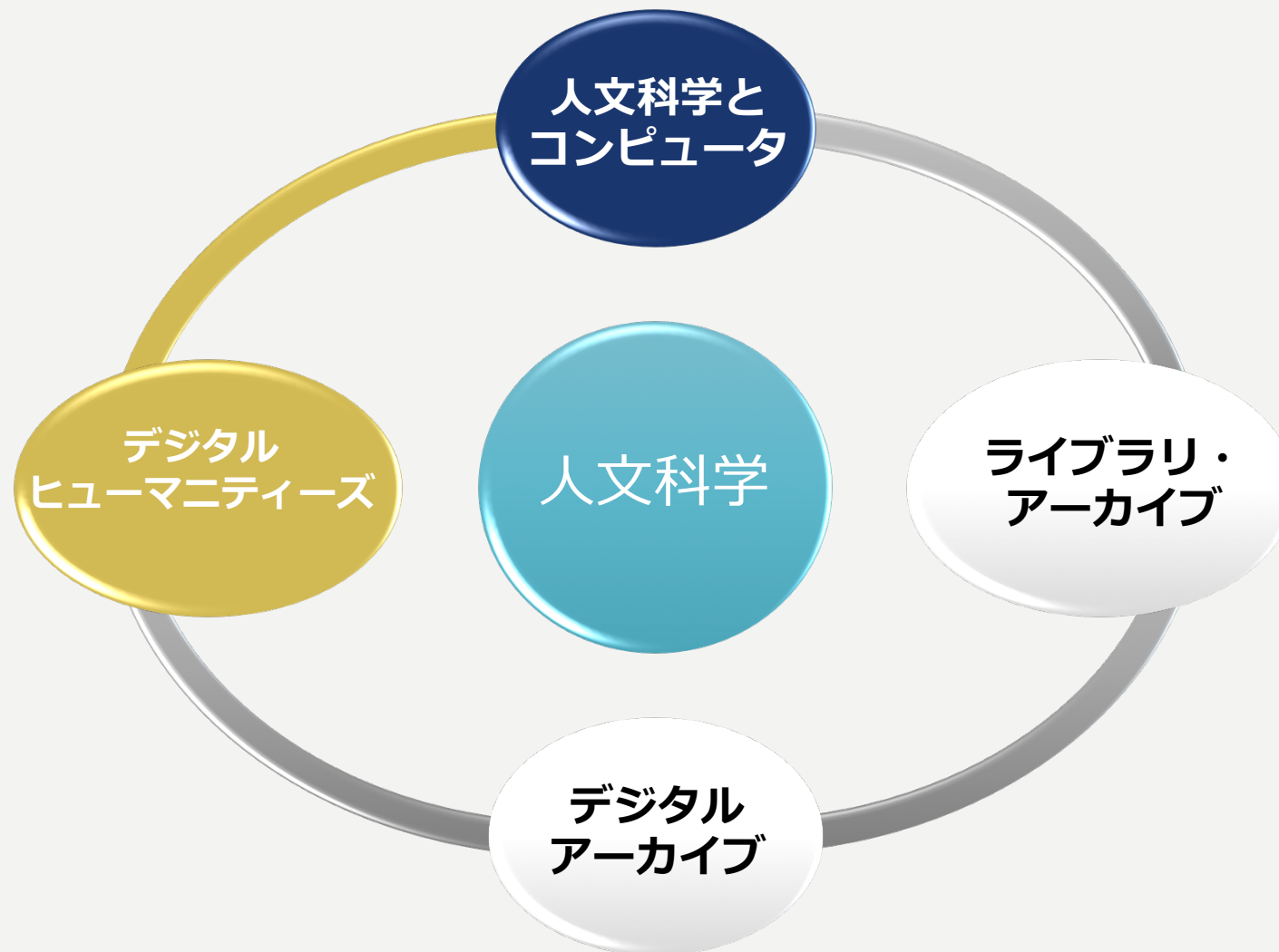
(“人文科学とコンピュータ研究会,

<http://www.jinmoncom.jp/index.php?%E3%81%93%E3%81%AE%E7%A0%94%E7%A9%B6%E4%BC%9A%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6>”より)



1.はじめに

1.1-デジタルヒューマニティーズ



1.はじめに

1.1-デジタルヒューマニティーズ



デジタル・ヒューマニティーズ

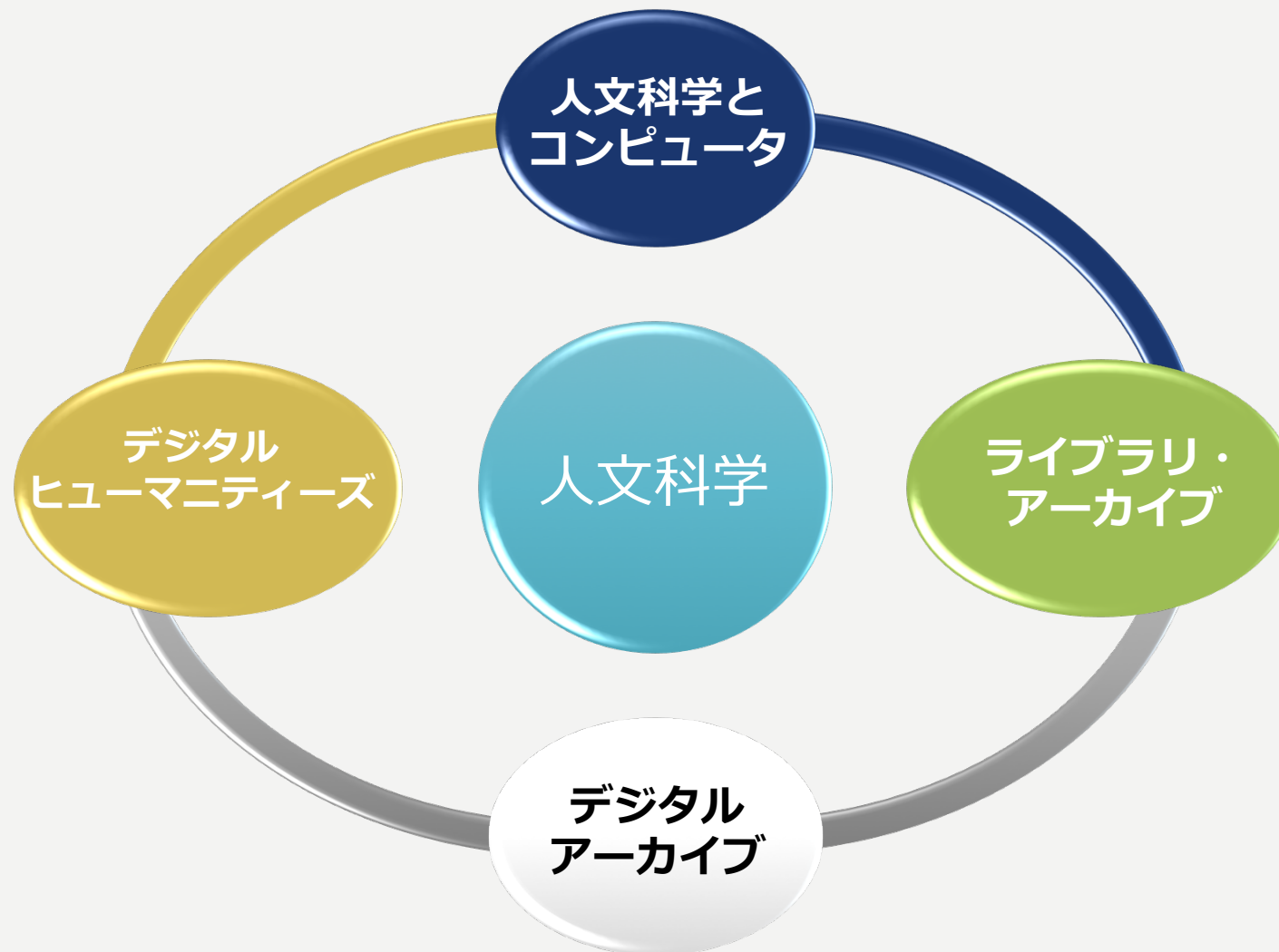
- 紙媒体の特性に依拠した方法論を発達させてきた人文学が、普及しつつあるデジタル媒体を基軸としてその方法論を再構築しようとする研究動向
- 研究成果を公開する方法の一つがデジタルアーカイブ

(“デジタル・ヒューマニティーズの動向と課題 宣一般財団法人人文情報学研究所”より) <http://www.slideshare.net/NagasakiKiyonori/ss-62266903> 永崎研

digital humanities

1.はじめに

1.1-ライブラリ・アーカイブ



1.はじめに

1.1-ライブラリ・アーカイブ

ライブラリ

- ・ 図書やメディア等の資料を収集，保管し利用者への提供を行う施設 --[1]



アーカイブ

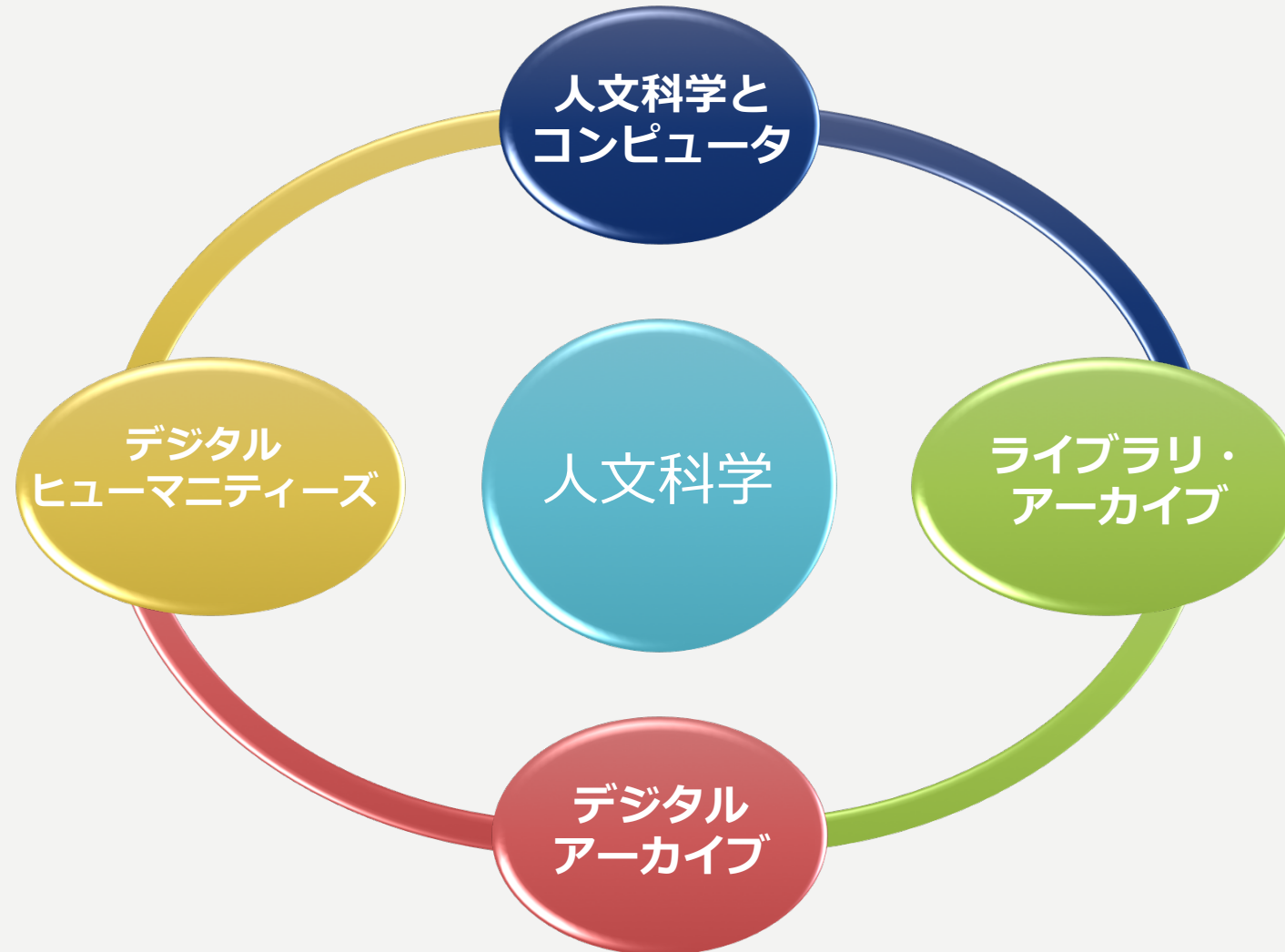
- ・ 歴史的な重要書類 (公文書) を保管・活用し，後世に伝達すること
- ・ 一般的には公文書館などの記録を保存する場所として用いられる --[2]

(“wikipedia [1]<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8>,

[2]<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%96> より)

1.はじめに

1.1-デジタルアーカイブ



1.はじめに

1.1-デジタルアーカイブ

デジタルアーカイブ

---図書館や公文書館，美術館などの文化資源をデジタル化して，
記録・保存を行うこと.

(“wikipedia,

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%87%E3%82%B8%E3%82%BF%E3%83%AB%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%96>

より)

1.はじめに

1.2-デジタルアーカイブの意義

貴重資料をデジタルで記録・保存し、後世に継承する

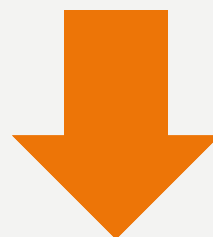
- ・「理科ねっとわーく」 理科のデジタル教材を集めたWebサイト

理科ねっとわーくシステム提供終了のお知らせ

理科ねっとわーくご利用の皆様へ
日頃から理科ねっとわーくをご利用頂き誠にありがとうございます。

今回のシステムメンテナンスのための長期停止につきまして、
ご利用の皆さまには、多大なご迷惑をお掛けして誠に
申し訳ございませんでした。

理科ねっとわーくは、昨今のインターネット環境上でのコンピュータウィルス
蔓延などによる個人情報の流出の危険性等の情勢の変化に対応するため、
平成28年4月よりシステムを停止させていただき、公開再開に向けての検討や
対策を重ねて参りましたが、システムの安全性確保と復旧までに膨大な時間と
コストがかかり対応が困難であることが判明したため、誠に残念ながら
公開再開を断念することとなりました。



メンテナンスに問題あり

サービス終了

(“wikipedia,

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%87%E3%82%B8%E3%82%BF%E3%83%AB%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%96>

理科ねっとわーく <http://rikanet2.jst.go.jp/>

より)

1.はじめに

1.2-デジタルアーカイブの意義

続けてサービスを提供するには・・・？

ハードウェア・ソフトウェア環境の

定期的な保守・更新

が必要.



1.はじめに

日本大学が所蔵しているアーカイブ関係



1.はじめに

日本大学が所蔵しているアーカイブ関係

学際的な研究プロジェクト

日本大学立理学部

完全に環境移行されていない
二つを対象に演習を行った

10年

アジア歴史資料

デジタルアーカイブ

日本語日本文学

デジタルアーカイブ

資料館

デジタルミュージアム

環境未移行

2009年

ハルビン絵葉書

2011年

清国漂流図

2007年

喜多村緑郎文庫

2016年(一部)

目次

1.はじめに

- 1.1- 人文科学とは
- 1.2- デジタルアーカイブの意義
- 1.3- これまでの谷研究室の取り組み

2.喜多村緑郎日記&Maps

- 2.1- これまでの取り組み
- 2.2- 開発環境
- 2.3- まとめ

3.デジタルミュージアム

- 3.1- 概要
- 3.2- 開発環境
- 3.3- 本演習の詳細

4.セキュリティ対策

5.ドキュメントの整備

6.最後に

- 6.1- デモ
- 6.2- まとめ
- 6.3- 今後の課題

(参照ページ)

2.喜多村緑郎日記&Maps

2.喜多村緑郎日記&Maps

2.1-これまでの取り組み

- 平成27年度
- [喜多村緑郎文庫]
 - 「喜多村緑郎日記&Maps」
 - 公開ページの環境移行

管理者ページでの日記更新機能は未移行



2.喜多村緑郎日記&Maps 本演習の取り組み

「喜多村緑郎文庫」

- 喜多村緑郎日記 & Maps
- 環境移行
- プログラム修正



喜多村緑郎日記 & Maps

喜多村緑郎文庫
Rokuro Kitamura Bunko

昭和6年4月26日 晴雨

午前九時燕号にて太田へ立つ。午後五時廿何分梅田着。中井、山上、文芸部員。角座の山本主任。市田。衣装元。その他。出迎ひにきてゐた。宗右衛門太野屋（解説）の別館へ投ず。

大野屋
「大野屋」および「大野屋別館」は宗右衛門町の北側の通りにあった旅館で、同じ通りには鳥料理の「播半」や「大和屋」などのお茶屋が多数並んでいた。

19件中 1 - 10

次

昭和6年4月26日
昭和6年4月29日
昭和6年4月30日
昭和6年5月12日
昭和6年5月29日
昭和6年8月31日
昭和6年9月5日
昭和6年9月6日
昭和12年3月1日
昭和12年3月5日

地図サイズ: S M L
画像サイズ: S M L
使い方
利用環境について

designed by 2007 日本大学文理学部 谷研究室 松嶋慎太郎

2.2-開発環境

環境移行の仮想マシンの構成

移行前

- OS : Ubuntu 14.04 LTS
(サポート期限 2019年4月)
- WebServer : Apache2
- PHP 5
- DB : SQLite2

移行後

- OS : **Ubuntu 16.04 LTS**
(サポート期限 2021年4月)
- WebServer : Apache2
- **PHP 7**
- **DB : SQLite3**



2.喜多村緑郎日記&Maps

2.3-まとめ



- 公開ページ
そのままの機能を保持



- 管理者ページ
新規登録、更新など

目次

1.はじめに

1.1- 人文科学とは

1.2- デジタルアーカイブの意義

1.3- これまでの谷研究室の取り組み

2.喜多村緑郎日記&Maps

2.1- これまでの取り組み

2.2- 開発環境

2.3- まとめ

3.デジタルミュージアム

3.1- 概要

3.2- 開発環境

3.3- 本演習の詳細

4.セキュリティ対策

5.ドキュメントの整備

6.最後に

6.1- デモ

6.2- まとめ

6.3- 今後の課題

(参照ページ)

3. デジタルミュージアム

3. デジタルミュージアム

3.1-概要

- 平成28年度学術研究助成金
[総合研究] 「東アジアにおける都市形成プロセスの実態解明と
そのデジタル化をめぐる研究」
--- 代表者 加藤直人 016107



プロジェクトの一環として、史学科の松重先生主導のもとシステムの移行(主担当谷研究室)と新しいコンテンツの追加(主担当資料館)を実施した

3. デジタルミュージアム

3.1-概要

本演習の課題

- 環境のバージョンアップに伴い、コードの変更
- 一括登録機能の修復

3. デジタルミュージアム

3.2-開発環境

環境移行の仮想マシンの構成

移行前

- OS : Ubuntu 14.04 LTS
(サポート期限 2019年4月)
- WebServer : Apache2
- PHP 5
- DB : MySQL 5

移行後

- OS : **Ubuntu 16.04 LTS**
(サポート期限 2021年4月)
- WebServer : Apache2
- **PHP 7**
- DB : MySQL 5



3. デジタルミュージアム

3.3-本演習の詳細

- 新規にサーバーの構築
- データの移行
- プログラムの改修
- 一括登録機能の修正・稼働



目次

1.はじめに

1.1- 人文科学とは

1.2- デジタルアーカイブの意義

1.3- これまでの谷研究室の取り組み

2.喜多村緑郎日記&Maps

2.1- これまでの取り組み

2.2- 開発環境

2.3- まとめ

3.デジタルミュージアム

3.1- 概要

3.2- 開発環境

3.3- 本演習の詳細

4.セキュリティ対策

5.ドキュメントの整備

6.最後に

6.1- デモ

6.2- まとめ

6.3- 今後の課題

(参照ページ)

4.セキュリティ対策

セキュリティ対策について

- セキュリティー対策は実施済み
- 発表では詳細は省かせていただきます…。

目次

1.はじめに

1.1- 人文科学とは

1.2- デジタルアーカイブの意義

1.3- これまでの谷研究室の取り組み

2.喜多村緑郎日記&Maps

2.1- これまでの取り組み

2.2- 開発環境

2.3- まとめ

3.デジタルミュージアム

3.1- 概要

3.2- 開発環境

3.3- 本演習の詳細

4.セキュリティ対策

5.ドキュメントの整備

6.最後に

6.1- デモ

6.2- まとめ

6.3- 今後の課題

(参照ページ)

5. ドキュメントの整備

- 一から全く知らないシステムをバージョン変更するのは大変
- 今回もかなり時間がかかった



- 今後の改修作業の軽量化・自動化のため **ドキュメント作成**

目次

1.はじめに

1.1- 人文科学とは

1.2- デジタルアーカイブの意義

1.3- これまでの谷研究室の取り組み

2.喜多村緑郎日記&Maps

2.1- これまでの取り組み

2.2- 開発環境

2.3- まとめ

3.デジタルミュージアム

3.1- 概要

3.2- 開発環境

3.3- 本演習の詳細

4.セキュリティ対策

5.ドキュメントの整備

6.最後に

6.1- デモ

6.2- まとめ

6.3- 今後の課題

(参照ページ)

資料目録

Web登録システム



まとめて追加

まとめてアップロード機能は現在メンテナンス中です

ファイルを選択してアップロードボタンをクリックして下さい

最新フォーマットのCSVをダウンロードする

データベースに登録されているデータをCSV形式でダウンロードする

Zipファイル:

ファイルを選択

選択されていません

リセット

アップロード

戻る

6.最後に

6.2-まとめ

環境の更新



プログラムの改修



ドキュメント作成

6.最後に

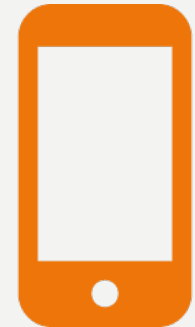
6.3-今後の課題

- 世の中ではスマホ・タブレットが普及している



- デジタルアーカイブのスマホ・タブレット対応
- 仮想マシンの設定ツールの活用

SmartPhone





参照ページ

人文科学

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BA%BA%E6%96%87%E7%A7%91%E5%AD%A6>

デジタルヒューマニティーズ

<http://www.slideshare.net/NagasakiKiyonori/ss-62266903>

ライブラリ・アーカイブ

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%96>

デジタルアーカイブ

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%87%E3%82%B8%E3%82%BF%E3%83%AB%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%96>

理科ねっとわーく

<https://www.jst.go.jp/data/m13.html>

https://www.pref.iwate.jp/dbps_data/_material/_files/000/000/048/319/20160901-03.pdf